

○平成22年度観光関係予算のポイント

観光立国の実現	126.5億円(対前年度比2.02倍) (平成21年度予算額62.6億円)
----------------	--

【主要事項】

1. 訪日外国人 3000 万人プログラム第 1 期 **94.8億円**

訪日外国人旅行者について、「将来的に3,000万人、その第1期として2013年までに1,500万人」との目標の達成を目指して、中国をはじめとする東アジア諸国を当面の最重点対象市場と位置づけ、PDCAサイクルを活用しながら、大規模かつ効率的な海外プロモーションを展開するとともに、国内受入環境の改善、MICEの開催・誘致の推進等の総合的な取組みを進める。

2. 観光を核とした地域の再生・活性化 **6.4億円**

内外観光客の宿泊旅行回数・滞在日数の拡大を目指し、二泊三日以上の滞在型観光を促進する観光圏づくりを推進するため、地方自治体、観光関係団体、農林団体、商工団体、地域住民やNPO等の幅広い関係者が一体となった観光圏整備の取組み等を総合的に支援する。

3. ワークライフバランスの実現に向けた環境の整備 **0.3億円**

観光立国の実現のためには、観光を通じた交流人口の拡大により地域の活性化に貢献していくことが重要であり、ワークライフバランスや観光振興の観点から休暇取得・分散化の促進に取り組むことが重要である。このため、より柔軟に休暇を取得できる仕組みづくりに向け、高い効果が期待できる具体的な取組みについて、実証事業を実施する。

4. 観光統計の整備 **3.3億円**

訪日外客誘致施策の更なる強化・充実、地域が主役となった観光政策の展開が求められる中、行政・民間における観光に関する取組みをPDCAサイクルに基づき早急かつ着実に実施するため、観光施策の基本インフラである観光統計に関する取組みを強化する。